



S-Stage KIT 取扱説明書

商品番号：01 05 510

ボア径：48.5mm ストローク：44mm(ノーマル) 排気量：81.2cc
適応車種およびフレーム番号

Today:AF61 1000001~

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

！使用燃料についてのご注意！

この製品はノーマルに比べ、高圧縮比となるよう設定しております。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。レギュラーガソリンを使用された場合、異常燃焼を起こし、本来の性能を発揮しない上にピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。製品取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにもご注意ください。レギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

！スパークプラグについてのご注意！

スパークプラグは必ず、CR8HSA(NGK)または、U24FSR-U(DENSO)に交換して下さい。その後に、スパークプラグ電極部の焼け具合により番数を決定して下さい。

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切 負いかねます。

この製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付けできませんのでご注意ください。

この製品の取り付けには上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。

取り付けの際には適切な工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やカワサキ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。

商品を加工等された場合は保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

ボルト、ナット、ノックピン、パッキンの一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。

⚠️ 注意

下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法的速度を守り違法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。
(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。
(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。
(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。
(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

⚠️ 警告

下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。
(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)

～ 取 り 付 け 要 領 ～

水平で安全な場所でスタンドを立て、車両を安定させる。これからの作業は必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行うこと。

取り外し

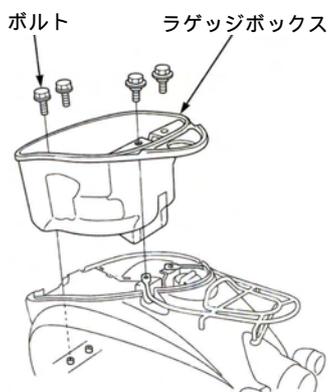
ホコリやオイルなどの汚れを取り除いてきれいにしながら各パーツを取り外していくようにする。取り外したボルトやナットは無くさないように、どの場所を使用するのかわかるように保管する。

ボディーカバーの取り外し

メインスイッチキーでシートを開け、ボルト4本を取り外し、ラゲッジボックスを取り外す。

使用工具

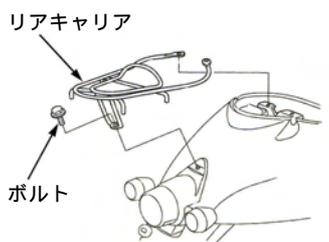
ソケット 10mm
ラチェットレンチ



ボルト1本を取り外し、リアキャリアを取り外す。

使用工具

ソケット 10mm
エクステンションバー中
ラチェットレンチ

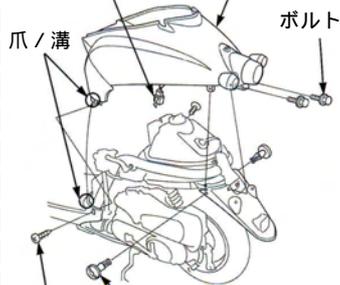


フロアパネルとボディーカバーを止めているスクリュ2本、リアフェンダーとボディーカバーを止めているトリムクリップ2個、ボルト2本を取り外す。

使用工具

メガネレンチ 10mm
プラスドライバー大

(白)カブラ フレームボディーカバー



スクリュ トリムクリップ

トリムクリップは、中央部をドライバー等で押し、ロックを外してから取り外す。

トリムクリップ



ボディーカバー後部を引き上げ前部の爪3箇所をフロアパネルの溝から外してボディーカバーを車体から取り外す。この際ボディーカバーにつながっている配線の白色カブラの接続を外す。

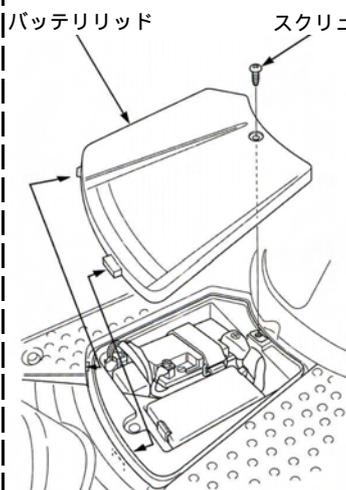


バッテリーの取り外し

スクリュ1本を取り外し、バッテリーリッドの後を持ち上げながら後ろへ引いて取り外す。

使用工具

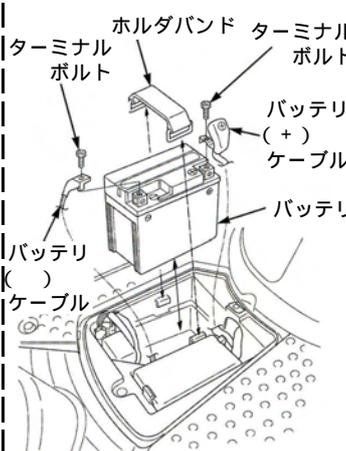
プラスドライバー中



メインスイッチがOFFか確認する。バッテリーマイナス側のボルトを取り外し、マイナスケーブルを取り外す。バッテリープラス側のボルトを取り外し、プラスケーブルを取り外す。ホルダバンドを取り外し、バッテリーを取り外す。

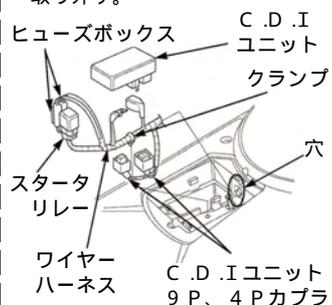
使用工具

プラスドライバー中



フロアパネルの取り外し

C.D.Iユニットやスタータリレー、ヒューズボックス、ワイヤーハーネスをフロアパネルから取り外し、ワイヤーハーネスのクランプをフロアパネルから取り外す。



C D Iユニット、スタータリレーのカブラの接続を外し、ワイヤーハーネスを真っ直ぐに伸ばしておく。

フレームとフロアパネルを止めているのボルト4本とスクリュ1本、レッグシールドとフロアパネルを止めているスクリュ4本を取り外し、フロアパネルをフレームからずらす。

使用工具

ボルト : ソケット 10mm
ラチェットレンチ
スクリュ : プラスドライバー中

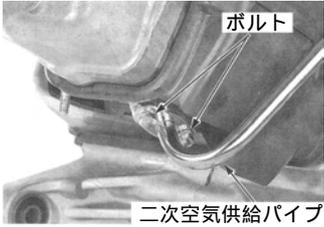


ワイヤーハーネス、ヒューズボックスをフロアパネルの穴に通し、フロアパネルを取り外す。

二次空気供給パイプの取り外し

シリンダヘッドに付いている二次空気供給パイプのボルト2本を取り外す。

使用工具
ソケット 8mm
エクステンションバー中
(進行方向後側ボルトのみ)
ラチェットレンチ

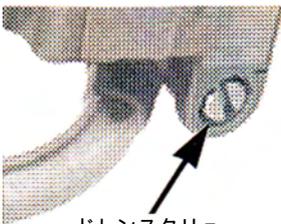


ボルト
二次空気供給パイプ

キャブレタの取り外し

ドレンスクリューをゆるめ、キャブレタ内のガソリンを抜き取る。

使用工具
マイナスドライバー中



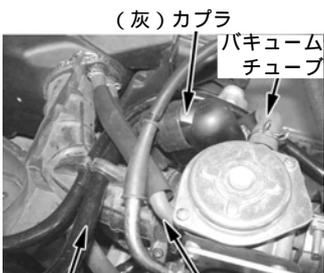
ドレンスクリュー

フューエルタンクの負圧コックからフューエルチューブの接続を外す。



フューエルチューブ

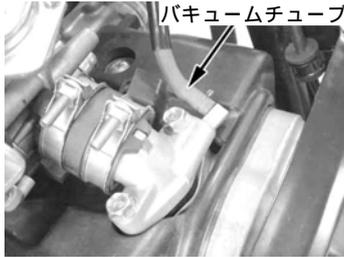
バイスターターの灰色カブラ、バキュームピストンホース、エアリードチューブの接続をキャブレタから外す。フューエルチューブをコネクティングチューブのクランプから外す。



(灰)カブラ
バキュームチューブ

フューエルチューブ
エアリードチューブ

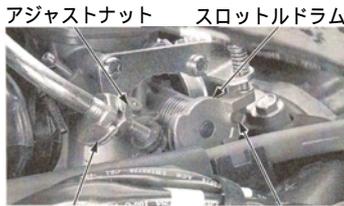
インテイクパイプのバキュームチューブの接続を外す。



バキュームチューブ

アジャストナットをゆるめ、スロットルケーブルをステアから外し、スロットルドラムからスロットルケーブルの接続を外す。

使用工具
スパナレンチ 12mm



アジャストナット スロットルドラム

ケーブルホルダ スロットルケーブル
キャブレタとコネクティングチューブを止めているチューブバンドのスクリューをゆるめる。

使用工具
プラスドライバー中

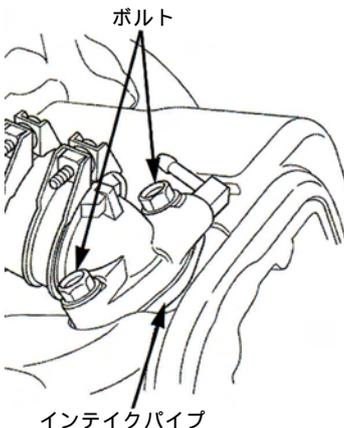


コネクティングチューブ

バンドスクリュー

シリンダヘッドとインテイクパイプを止めているボルト2本を取り外し、キャブレタ、インテイクパイプ、インシュレータを取り外す。

使用工具
スパナレンチ 10mm



ボルト

インテイクパイプ

エキゾーストマフラの取り外し
シリンダヘッドとエキゾーストパイプを止めているナット2個を取り外す。

使用工具
ソケット 10mm
エクステンションバー中
ラチェットレンチ



ジョイントナット

マフラスター部のボルト2本を取り外し、マフラを取り外す。

使用工具
ソケット 12mm
ラチェットレンチ



マウントボルト

マフラ

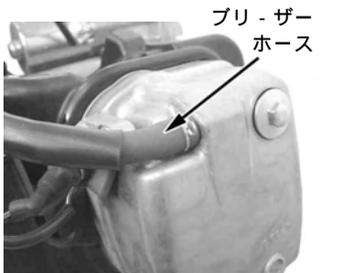
ファンカバーとシュラウドの取り外し

ファンカバーに付いている配線のクランプを取り外す。



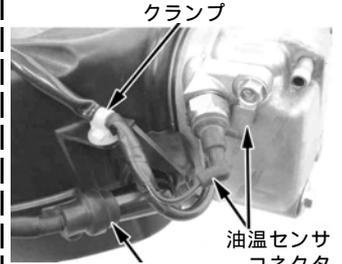
クランプ

シリンダヘッドカバーからブリ-ザーホースを取り外す。



ブリ-ザーホース

シリンダヘッドから、油温センサーコネクタの接続を外し、シュラウドから配線のクランプを外す。プラグキャップを引っ張って外す。必ずキャップ部分を持って引っ張ること。

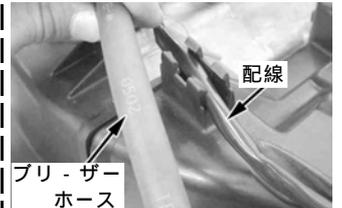


クランプ

プラグキャップ

油温センサーコネクタ

シュラウドのクランプからブリ-ザーホースと、配線を外す。

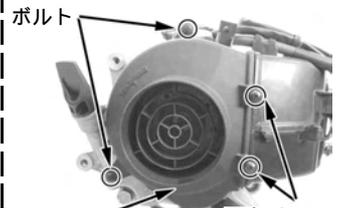


配線

ブリ-ザーホース

ファンカバーとシュラウドを止めているスクリュー-2本とファンカバーとクランクケースを止めているボルト2本を取り外し、ファンカバーを取り外す。

使用工具
スクリュー: プラスドライバー中
ボルト : ソケット 8mm
ラチェットレンチ



ボルト

ファンカバー
上下のシュラウドを止めているスクリュー-2本とシュラウドをクランクケースに止めているボルト1本を取り外す。

使用工具
スクリュー: プラスドライバー中
ボルト : ソケット 8mm
ラチェットレンチ



左右の爪を外し、シュラウドを外す。

スパークプラグの取り外し
プラグキャップを引っ張って外す。必ずキャップ部分を持って引っ張ること。

スパークプラグを取り外す。

使用工具

プラグレンチ 16mm
ラチェットレンチ

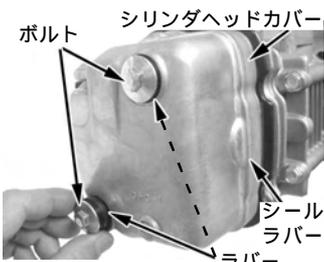


シリンダヘッドカバーの取り外し

シリンダヘッドカバーのボルト2本を取り外し、ラバー2個、シリンダヘッドカバーを取り外す。

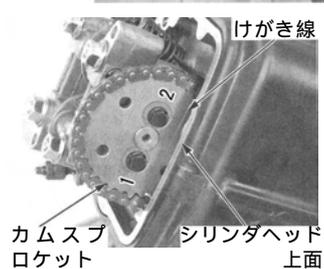
使用工具

ソケット 10mm
ラチェットレンチ



カムプロケットの取り外し

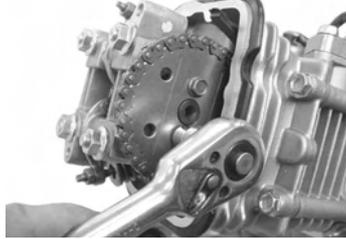
フライホイールを時計方向に回し、フライホイールの“T”マークをクランクケースの合わせマークを合わせ、カムプロケットのけがき線がシリンダヘッドの上面と平行になり、“1”が下側(排気側)、“2”が上側(吸気側)になるようにする。



フライホイールを保持し、カムプロケットのボルト2本を取り外す。

使用工具

ソケット 8mm
ラチェットレンチ



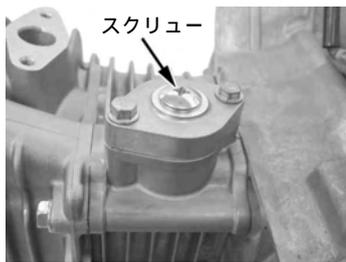
メガネレンチ 14mm



シリンダのカムチェーンテンションのスクリューを取り外す。

使用工具

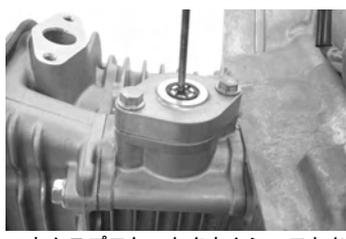
プラスドライバー大



カムチェーンテンションのストップを時計方向にいっぱいまで回し、ロックさせる。

使用工具

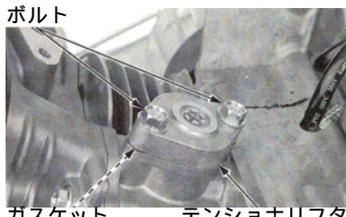
マイナスドライバー極細先



カムプロケットをカムシャフトから抜き、カムチェーンから取り外す。2本のボルトを取り外し、カムチェーンテンションを取り外す。ガスケットは再使用するので取り外しておく。

使用工具

ソケット 10mm
ラチェットレンチ

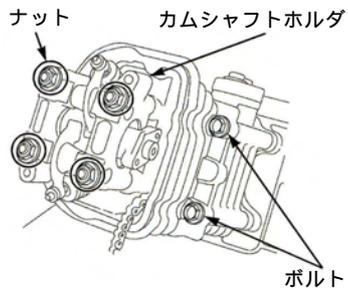


シリンダヘッドの取り外し

シリンダヘッド横のボルト2本を取り外す。カムシャフトホルダーのナット4個を対角に数回に分けてゆるめ、取り外す。

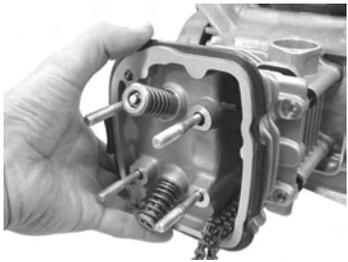
使用工具

ボルト:ソケット 10mm
エクステンションバー中
ラチェットレンチ
ナット:ソケット 12mm
ラチェットレンチ



カムシャフトホルダーを取り外し、シリンダヘッドを取り外す。

(かたい時はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す。)



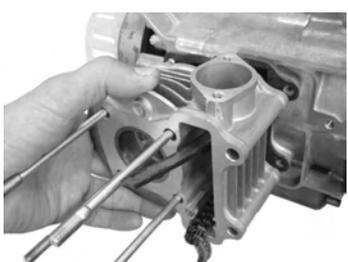
ロックピン4個は、再使用するの
で取り外しておく。

シリンダの取り外し

シリンダからカムチェーンガイドを取り外す。



シリンダを引っ張って取り外す。
(かたい時はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す。)



ロックピン2個は再使用するの
で取り外しておく。

シリンダが外れた後、ゴミや部
品が入らないようにきれいなウ
エス等をクランクケースのシリ
ンダホールとカムチェーンホー
ルに詰め込む。



ガスケットがクランクケースに
残った場合は、スクレーパーや
カッターナイフ等できれいに取り
除いておく。

キズをつけないように注意。

ピストンの取り外し

ピストンピンサークリップの片
側を取り外す。

ピストンピン穴の切り欠き部を
利用してこじるようにすると外
れやすい。

使用工具

マイナスドライバー極細先



サークリップを取り外した方へ
ピストンピンをドライバー等で
押し外し、ピストンを外す。



S-ステージKITの 取り付け

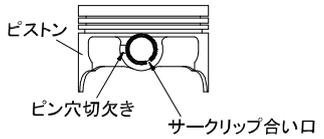
ピストンの取り付け

ピストンのピン穴の片側に付属のピストンピンサークリップを取り付ける。

使用工具
ラジオペンチ



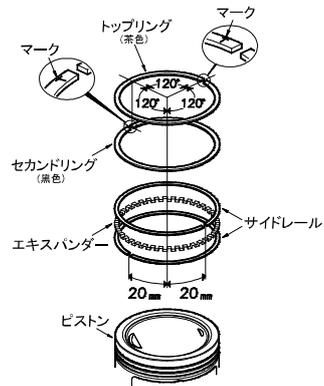
ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けること。



ピストンにキズを付けないように注意。

取り付け中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付けること。

図を参考にしてピストンリングを取り付ける。エキスパンダー、サイドレール、セカンドリング、トップリングの順に取り付ける。



ピストンピン、ピストンピン穴、コンロッドのピストンピン穴にきれいなエンジンオイルを塗布する。



ピストン頂面の“ ”マークが、下(排気側)に向くようにピストンをコンロッドに取り付ける。



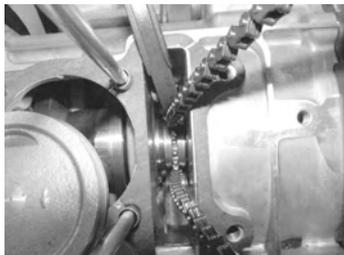
付属のピストンピンサークリップをもう片方のピン穴に取り付ける。

使用工具
ラジオペンチ



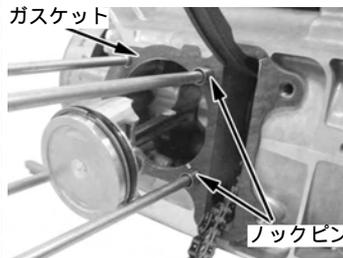
シリンダの取り付け

詰めていたウエスを取り外す。カムチェーンホールを覗き、カムチェーンがクランクシャフトの sprocket から外れていないか確認する。



クランクケースとシリンダの合せ面をシンナー等で脱脂し、きれいにする。

ロックピン2個とシリンダガasketをクランクケースに取り付ける。



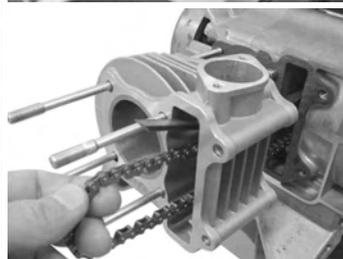
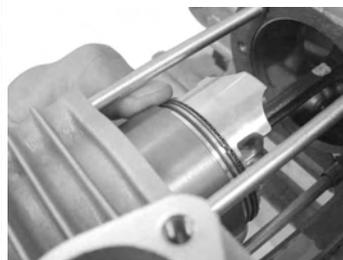
シリンダの内側にきれいなエンジンオイルを塗布し、均等に薄く塗り広げる。



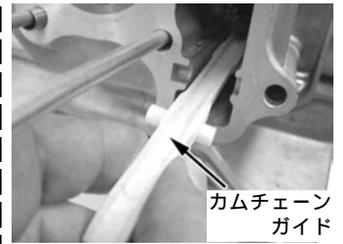
ピストンの全周面と、ピストンリングにきれいなエンジンオイルを塗布する。



シリンダをピストンリングの合い口の位置がずれないように指で少しずつピストンにはめていき、シリンダをクランクケースにはめ込む。シリンダがピストンにはまったら、カムチェーンをシリンダに通しておく。

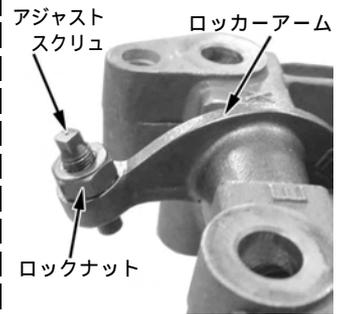


カムチェーンガイドをシリンダの溝にしっかりとめ込む。



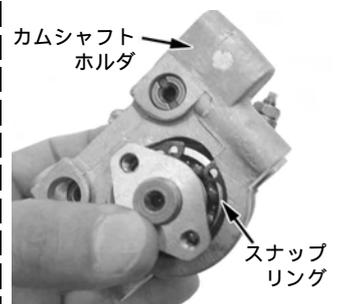
カムシャフトの取り付け

ロッカーアームのアジャストスクリューロックナットをゆるめ、アジャストスクリューをゆるめておく。

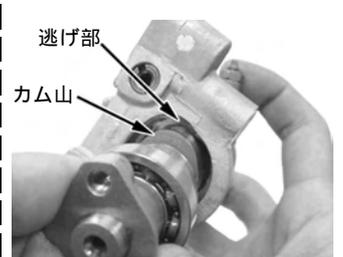


スナプリングをカムシャフトホルダーから取り外す。

使用工具
スナプリングプライヤー



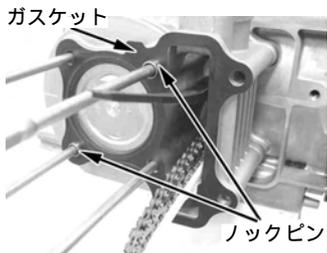
カムシャフトホルダーにはカム山の逃げがあるのでカムシャフトを回しながら取り外す。無理に引っ張って取り外さないこと。



キットのカムシャフトをカムシャフトホルダーに同じように回しながら取り付け。カムシャフトホルダーにスナプリングを取り付ける。

使用工具
スナプリングプライヤー

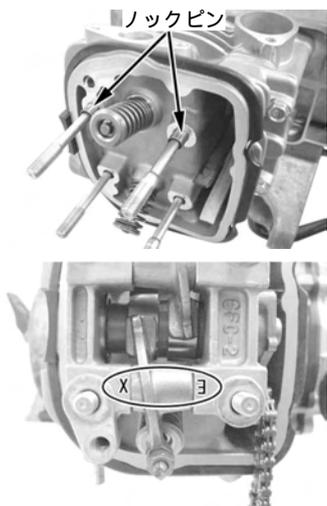
シリンダヘッドの取り付け
シリンダとシリンダヘッドの合せ面をシンナー等で脱脂し、ノックピン2個とシリンダヘッドガスケットをシリンダに取り付ける。



カムチェーンをシリンダヘッドに通し、シリンダヘッドを取り付ける。



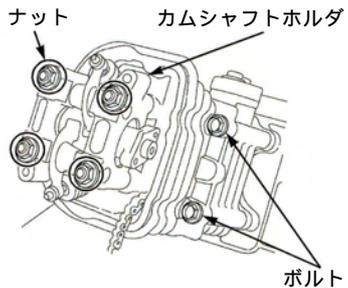
シリンダヘッドにノックピン2個を取り付け、カムシャフトホルダーを取り付ける。このとき、カムシャフトはカム山をシリンダヘッド側にして取り付ける。カムシャフトホルダーは“EX”の文字が下側(排気側)になるように取り付ける。



ナット4個、ボルト2本を仮止めしておき、先にナットを対角線状になるように数回に分けて締め付ける。

使用工具
ナット：ソケット12mm
トルクレンチ
ボルト：ソケット10mm
エクステンションバー中
トルクレンチ

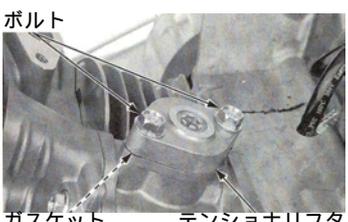
規定トルク
ナット：16 N・m
(1.6 kgf・m)
ボルト：12 N・m
(1.2 kgf・m)



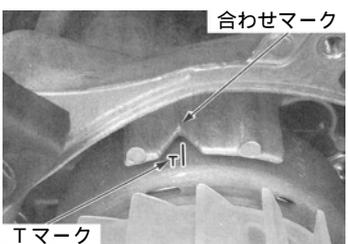
カムプロケットの取り付け

カムチェーンテンションのプッシュロッドがロックしているか確認する。シリンダにガスケットとカムチェーンテンションを取り付け、2本のボルトを取り付ける。

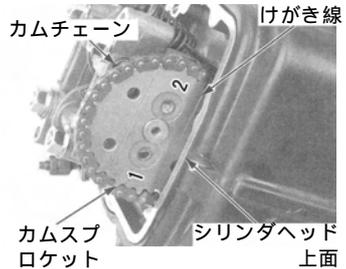
使用工具
ソケット 10mm
トルクレンチ
規定トルク
10 N・m (1.0 kgf・m)



フライホイールの“T”マークがクランクケースの合わせマークに合っているか確認する。

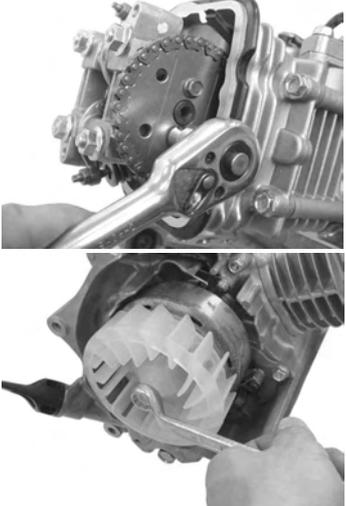


カムプロケットのけがき線がシリンダヘッドの上面と平行になり、“1”が下側(排気側)、“2”が上側(吸気側)になるようにカムチェーンを取り付ける。カムプロケットをカムシャフトにはめ込む。



カムプロケットの穴にカムシャフトのネジ穴を合わせ、ボルト2本を取り付ける。

使用工具
ソケット 8mm
トルクレンチ
メガネレンチ 14mm
規定トルク
9 N・m (0.9 kgf・m)



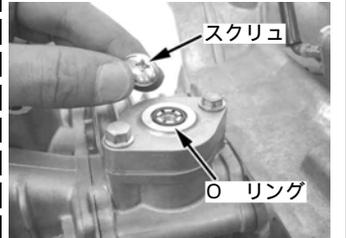
カムチェーンテンションのストップパを反時計方向に少し回し、プッシュロッドのロックを解除する。

使用工具
マイナスドライバー極細先



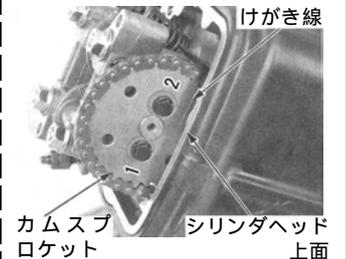
カムチェーンテンションの溝にOリングが付いているのを確認し、スクリューをカムチェーンテンションに取り付ける。

使用工具
プラスドライバー大
規定トルク
4 N・m (0.4 kgf・m)



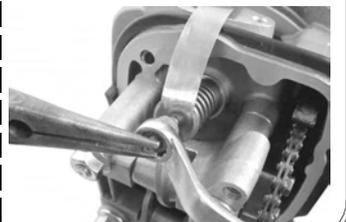
バルブクリアランスの調整

フライホイールの“T”マークをクランクケースの合わせマークを合わせ、カムプロケットのけがき線がシリンダヘッドの上面と平行になり、“1”が下側(排気側)、“2”が上側(吸気側)になっているか確認する。



アジャストスクリューとバルブステムの間に0.05~0.10mmのシクネスゲージを差し込み、引き抜くときに少し抵抗があるぐらいに合わせ、アジャストスクリューを固定してナットを締め付ける。

使用工具
シクネスゲージ
メガネレンチ 9mm
ラジオペンチ
規定トルク
10 N・m (1.0 kgf・m)



フライホイールを時計方向に2回転まわし、バルブ隙間が変化していないか確認する。隙間が変化している場合は再度調整する。この作業を合うまで繰り返す。

シリンダヘッドカバーの取り付け

シリンダヘッドカバーにシールラバーを取り付け、シリンダヘッドにラバー2個、ボルト2本で取り付ける。

ラバーは“UP”マークを上に向けて取り付けること。

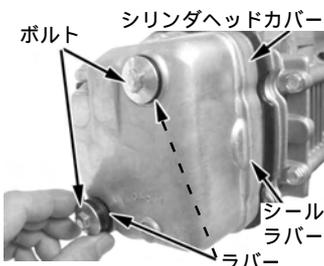
使用工具

ソケット 10mm

トルクレンチ

規定トルク

12 N・m (1.2 kgf・m)



スパークプラグの取り付け

スパークプラグをまず手で締め込む。

プラグレンチを用いて締め付ける。

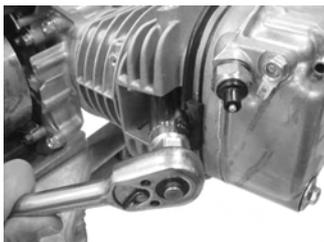
使用工具

プラグソケット 16mm

トルクレンチ

規定トルク

12 N・m (1.2 kgf・m)



ファンカバーとシュラウドの取り付け

上下のシュラウドをシリンダヘッドのシールラバーに合わせて取り付け、左右の爪をはめ込む。

ホースや配線を噛み込まないこと。スクリュ - 2本で上下のシュラウドを止め、クランクケースにボルトワッシャ1本で取り付ける。

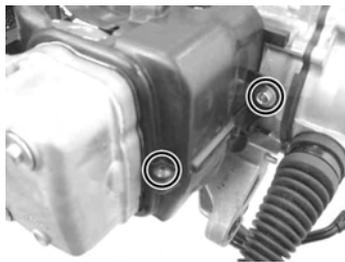
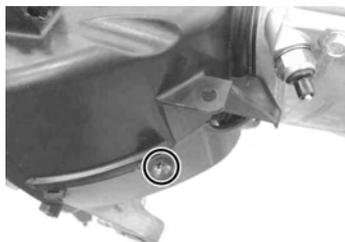
使用工具

スクリュ - : プラスドライバー中ボルトワッシャ: ソケット10mm
トルクレンチ

規定トルク

スクリュ - : 2 N・m
(0.2 kgf・m)

ボルトワッシャ: 7 N・m
(0.7 kgf・m)



ファンカバーをはめ、シュラウドにスクリュ - 2本で、クランクケースにボルト2本で取り付ける。

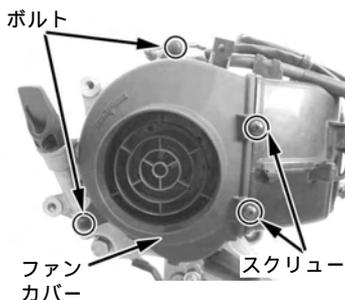
使用工具

スクリュ - : プラスドライバー大ボルト: ソケット 8mm
エクステンションバー小トルクレンチ

規定トルク

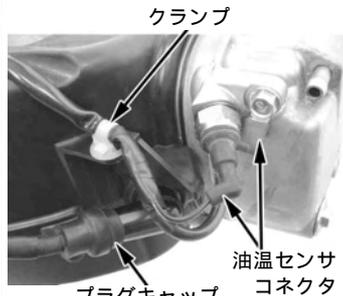
スクリュ - : 2 N・m
(0.2 kgf・m)

ボルト : 7 N・m
(0.7 kgf・m)

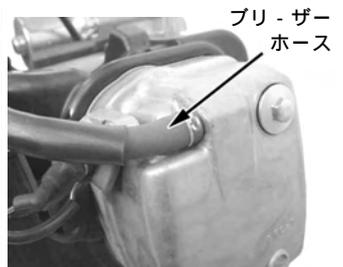


油温センサーコネクターをシリンダヘッドカバー油温センサー部に接続し、配線のクランプをシュラウドに取り付ける。

スパークプラグキャップを取り付ける。



ブリーザーホースをシリンダヘッドカバーに取り付け、油温センサーの配線と共にシュラウドに取り付ける。



キャブレタの取り付け

キャブレタをコネクティングチューブにはめ込み、バンドのスクリュ - を締め付ける。

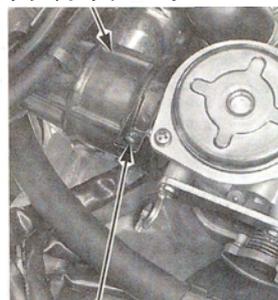
使用工具

プラスドライバー中

規定トルク

2 N・m (0.2 kgf・m)

コネクティングチューブ



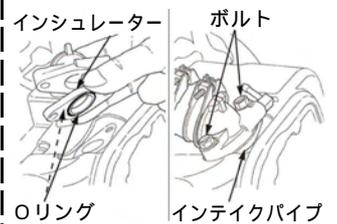
インシュレータの裏表にOリングが付いているのを確認してインテイクパイプとシリンダヘッドの間にはさみ、ボルト2本を取り付ける。

使用工具

スパナレンチ 10mm

規定トルク

10 N・m (1.0 kgf・m)

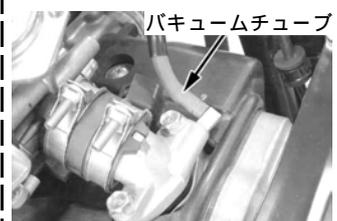


Oリング インテイクパイプ
スロットルケーブルをキャブレタのスロットルドラムに接続し、スロットルケーブルをステーに取り付け、アジャストナットで固定する。

アジャストナット スロットルドラム



ケーブルホルダー スロットルケーブル
バキュームチューブをインテイクパイプに接続する。



フューエルチューブをフューエルタンクの負圧コックに接続する。

フューエルチューブ



バキュームピストンホース、エアリードチューブ、バイスターターの灰色カプラをキャブレタに接続する。フューエルチューブをコネクティングチューブのクランプに取り付ける。

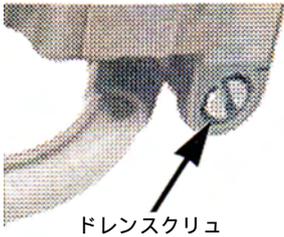
(灰)カプラ



フューエルチューブ エアリードチューブ

キャブレタのドレンスクリューが締まっているか確認する。

使用工具
マイナスドライバー中
規定トルク
1.5 N・m (0.15 kgf・m)



ドレンスクリュー

エキゾーストマフラの取り付け

シリンダーヘッドのスタッドボルトにエキゾーストマフラのフランジを差し込み、位置を合わせる。

エキゾーストマフラのフランジ側をナット2個で、マフラステー部をボルト2本でまず仮止めする。



ジョイントナット



マウントボルト

マフラ

まず、ナット2個を本締めし、ボルト2本を本締めする。

使用工具
ナット：ソケット 10mm
エクステンションパー
トルクレンチ

ボルト：ソケット12mm
トルクレンチ

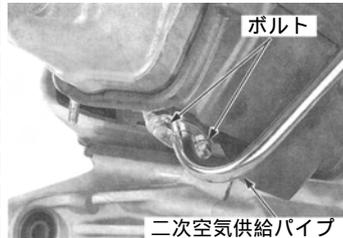
規定トルク
ナット：1.0 N・m
(1.0 kgf・m)

ボルト：2.6 N・m
(2.7 kgf・m)

二次空気供給パイプの取り付け
シリンダーヘッドにガスケットとパイプをボルト2本で取り付ける。

使用工具
ソケット 8mm
エクステンションパー中
(進行方向後側ボルトのみ)

ラチェットレンチ
規定トルク
1.0 N・m (1.0 kgf・m)



ボルト

二次空気供給パイプ

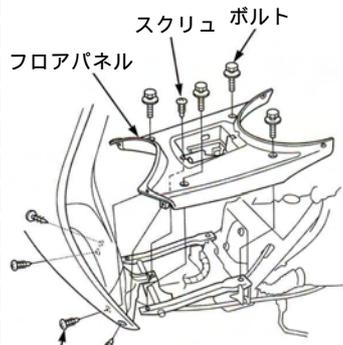
フロアパネルの取り付け

フロアパネルの穴にワイヤーハーネスやヒューズボックスを通し、フロアパネルを車体にはめ込む。フレーム側にボルト4本とスクリュー1本、レッグシールド側にスクリュー4本で取り付ける。

使用工具
スクリュー：プラスドライバー中
ボルト：ソケット10mm
トルクレンチ

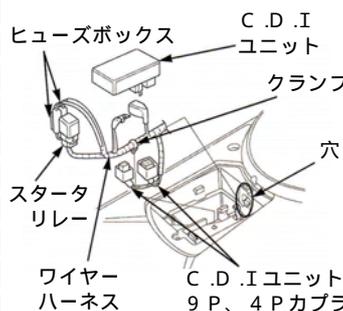
規定トルク
スクリュー：2 N・m
(0.2 kgf・m)

ボルト：1.0 N・m
(1.0 kgf・m)



スクリュー

スタータリレーやC.D.Iユニットのカブラを接続し、フロアパネルにはめ込む。



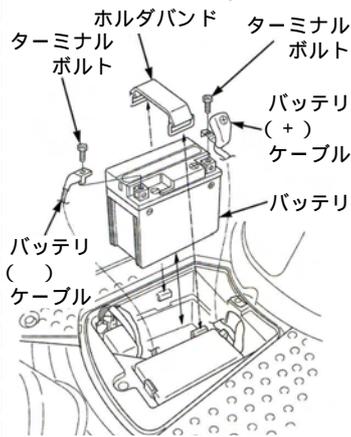
ワイヤーハーネス

C.D.Iユニット
9P、4Pカブラ

バッテリーの取り付け

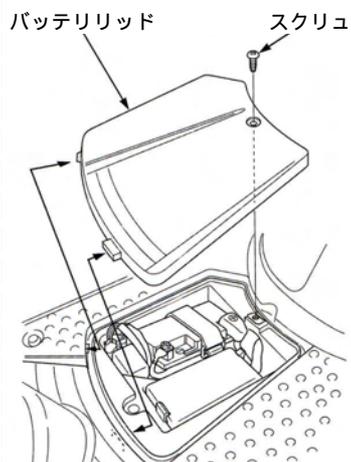
メインスイッチがOFFか確認する。バッテリーをフロアパネルに入れ、ホルダバンドで固定する。バッテリーのプラス側にプラスケーブルをボルトで取り付ける。バッテリーのマイナス側にマイナスケーブルをボルトで取り付ける。

使用工具
メガネレンチ 10mm
規定トルク
1.4 N・m (1.4 kgf・m)



フロアパネルにバッテリーリッドの前面を先に差し込み、はめ込む。スクリュー1本を取り付ける。

使用工具
プラスドライバー中
規定トルク
2 N・m (0.2 kgf・m)



ボディーカバーの取り付け

ボディーカバーを少し左右に広げ、車体にかぶせる。この際、配線の白色カブラを接続する。

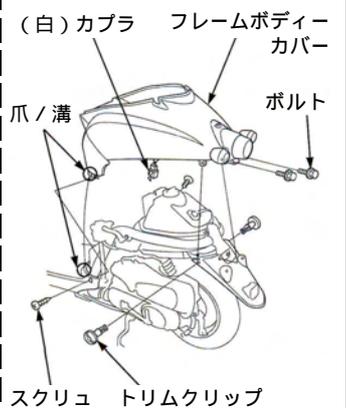


ボディーカバーの前面をフロアパネルの溝にしっかりとめ込む。ボディーカバー後部のリアキャリア取り付け穴とリアフェンダー取り付け穴を、フレームのそれぞれのボス部にはめ込む。スクリュー2本、ボルト2本、トリムクリップ2個を取り付ける。

使用工具
スクリュー：プラスドライバー中
ボルト：ソケット 10mm
エクステンションパー小
トルクレンチ

規定トルク
スクリュー：2 N・m
(0.2 kgf・m)

ボルト：1.0 N・m
(1.0 kgf・m)

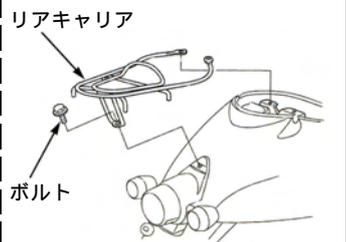


スクリュー トリムクリップ

トリムクリップは中央部を上げておき、取り付けてから中央部を押してロックさせる。



リアキャリアをボルト1本で仮止めする。



ボルト

ラゲッジボックスの後部の取り付け穴2箇所をリアキャリアの取り付け穴に合わせ、ボルト4本で取り付け。リアキャリアのボルト1本を本締めする。

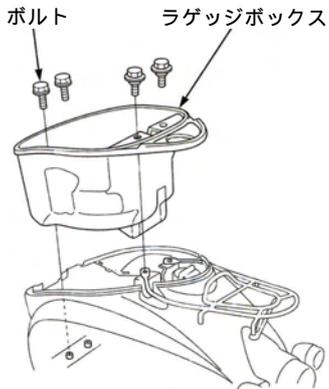
使用工具

ソケット 10mm

トルクレンチ

規定トルク

10N・m (1.0kgf・m)



走行前の注意

使用燃料について

燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替える。

各部の点検

各部を点検し、ネジやナット等の緩みが無いか確認する。

エンジンオイルが規定量入っているか確認して下さい。

風通しが良く、安全な場所で十分注意してエンジンを始動し暖気運転させる。

エンジンからの異音や、各ガスケット部からのオイルもれが無いか点検する。

エンジンを切り、充分冷えた後で各部を点検し、ネジやナット等の緩みが無いか再度点検する。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>